

向井潤吉 洋画家。戦前に名を成していたが、敗戦で転換、失われつつある日本の民家を描き続けて人気を得た。

むかいじゅんきち

田中正造直訴1901 = 京都市下京区に生れる。彫刻家向井良吉の兄。

日露戦争終・1905 = 4歳 :

韓国併合・・・1910 = **9歳** :

明治天皇没・1912 = 11歳 :

第一次大戦始1914 = 13歳 : **京都市立美術工芸学校に入学。**

民本主義・・・1916 = 15歳 : **中退して、関西美術院に入り、**
卒業後、新聞配達しながら創作、

第一次大戦終・1919 = **18歳** :

大暴落・・・1920 = 19歳 : ***「室隅にて」**が二科展に初入選。

原敬首相暗殺1921 = 20歳 :

金融恐慌・・・1927 = 26歳 : **渡仏し、ルーブル美術館で模写に専念。**

共産党事件・1928 = **27歳** :

海軍軍縮条約1930 = 29歳 : ***帰国し、二科展に滞欧作を出品して橋牛賞を受賞。**

満州事変・・・1931 = 30歳 :

国際連盟脱退1933 = 32歳 : **世田谷区弦巻にアトリエを構え、以降、拠点として創作活動。**

二二六事件・1936 = 35歳 : **二科会の会員となる。**

日中戦争始・1937 = **36歳** : **陸軍報道班員として念願の訪中、戦争記録映画制作の一方、著名な石仏を「大同の石仏」として描く。**

大政翼賛会・1940 = 39歳 : **昭和洋画奨励賞を受けた。**

日米開戦・・・1941 = 40歳 :

敗戦・・・1945 = 44歳 : ***二科会再建への参加を拒否し、行動美術協会の創立に参加。民家シリーズを始め、ライフワークとなる。**

新憲法公布・1946 = **45歳** :

生活に密着した写実性により日本の民家を描き続けて世相風俗を追求する一方、挿絵画家としても活躍。

独立回復・・・1951 = 50歳 :

55年体制始・1955 = **54歳** :

美智子妃・・・1959 = 58歳 : 渡欧し、各国を写生して回る。

安保闘争・・・1960 = 59歳 :

台風被害始・1961 = 60歳 : アトリエを不審火で焼失し、貴重な作品・資料を失う。

全国総合計画1962 = 61歳 : 住まいを兼ねたアトリエを再建。「飛騨立秋」,

東京初展 1964 = **63歳** :

いざなぎ景気1966 = 65歳 : 訪中日本代表団の一員として、中国各地を巡る。

石油ショック1973 = **72歳** :

角栄金脈辞任1974 = 73歳 : 画業60年記念向井潤吉還流展を開催。

中曽根内閣・1982 = **81歳** : 世田谷区名誉区民。

55年体制終・1993 = 92歳 : ***300余点の作品と自宅を世田谷区に寄贈し、向井潤吉アトリエ館が開館。**

おんきん事件・1995 = 94歳 : 急性肺炎で、**没した。**

「この人どんな人」、インターネット、